

- 問1 紀元前2000年ごろ、世界でインダス文明が栄えていた時期の日本列島における生活の様子を説明した文として、最も適切なものはどれですか。
(2016年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 薄手で硬い赤褐色の土器を用いて食料を保存し、大規模な水田での稲作を中心とした生活を送っていた | 2. 金属器が伝来して武器や祭祀の道具として使われ、有力な王を葬るための巨大な前方後円墳が築かれた | 3. 表面に縄の模様がついた厚手の土器を用いて煮炊きを行い、地面を掘り下げて床を作った住居に住んでいた | 4. 土器はまだ作られておらず、ナウマンゾウなどの大型の獲物を追いながら移動して生活していた |
|---|---|---|--|
- 問2 三内丸山遺跡の調査結果から推測される、縄文文化の生活や社会の様子について正しく説明しているものはどれですか。
(2024年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 大陸から青銅器や鉄器が伝わり、武器や祭具として使用されることで集落間の争いが激化した。 | 2. 豊かな自然環境を背景に、狩猟・採集・漁労を行いながら大規模な定住生活を営んでいた。 | 3. 大規模な灌漑設備を用いた水田稲作が普及し、食料を蓄えるための高床倉庫が主流となった。 | 4. 前方後円墳などの巨大な墳墓が築かれ、広域を支配する強力な王権が誕生していた。 |
|--|--|---|---|
- 問3 青森県に位置し、大型掘立柱建物跡などの発見によって縄文時代の定住生活の実態を明らかにした、日本最大級の集落跡は何か。
(2025年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-----------|-----------|---------|
| 1. 登呂遺跡 | 2. 三内丸山遺跡 | 3. 吉野ヶ里遺跡 | 4. 岩宿遺跡 |
|---------|-----------|-----------|---------|
- 問4 青森県にある三内丸山遺跡の調査によって明らかになった、縄文時代の人々の生活や社会の様子として最も適切な説明を選びなさい。
(2023年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 金属器を用いた農耕が普及し、王の権威を示すために巨大な前方後円墳を築造する社会を形成していた。 | 2. 大陸から伝わった稲作を基盤とし、集落の周囲に深い堀を巡らせて外敵の侵入を防ぐ生活を送っていた。 | 3. ナウマンゾウやヘラジカなどの大型動物を狩るため、特定の拠点を持たずに獲物を追って移動を繰り返していた。 | 4. クリなどの植物を栽培したり、遠方の地域と黒曜石やヒスイを交易したりして、長期間の定住生活を送っていた。 |
|--|--|--|--|
- 問5 日本の東北地方、現在の青森県に位置する縄文時代を代表する遺跡について、その名称と時代の組み合わせとして正しいものを選びなさい。
(2023年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------|----------------|------------------|------------------|
| 1. 三内丸山遺跡 — 弥生時代 | 2. 登呂遺跡 — 弥生時代 | 3. 吉野ヶ里遺跡 — 弥生時代 | 4. 三内丸山遺跡 — 縄文時代 |
|------------------|----------------|------------------|------------------|
- 問6 縄文時代の人々は、竪穴住居に住み、狩りや漁、採集を行って生活していました。こうした生活の中で、食べた後の貝殻や動物の骨、役目を終えた石器や土器などが一定の場所に積み重なって形成された、当時の生活を知るための重要な考古学的資料となる遺跡を何と呼びますか。
(2018年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|----------|---------|-------|
| 1. 貝塚 | 2. 高地性集落 | 3. 環濠集落 | 4. 古墳 |
|-------|----------|---------|-------|
- 問7 佐賀県の東名遺跡（ひがしみよういせき）では、約8千年前の地層から植物の繊維で編まれた国内最古級の「編みかご」が発見されました。このような発見から推測される、当時の人々の生活習慣や信仰に関する記述として正しいものを次の中から選んでください。
(2019年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 大規模な灌漑設備を整えて稲作を行い、村同士の争いに備えて周囲に堀を巡らせた環濠集落で暮らした。 | 2. 自然の恵みに頼った生活を送っており、魔よけや豊かな収穫を祈るために土偶（どぐう）が作られた。 | 3. 有力な王が各地を支配しており、その権力を象徴するために巨大な前方後円墳が造られた。 | 4. 仏教の教えが広まり、国家の安泰を願って各地に国分寺や国分尼寺が建立された。 |
|--|---|--|--|
- 問8 縄文時代につくられた素焼きの人形で、豊かな収穫や病気の回復、魔除けなどを祈るために用いられたとされる遺物を何といいますか。
(2026年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| 1. 土偶 | 2. 銅鐸 | 3. 埴輪 | 4. 石包丁 |
|-------|-------|-------|--------|
- 問9 ある中学生が地元の歴史博物館で調べた内容をまとめた報告書の中で、「市内で発掘された、表面に縄を転がしたような模様がある土器」について記述しています。一万数千年前から紀元前数世紀まで続き、このような土器を使って狩猟・採集・漁労を主とする生活が行われていた時代を何といいますか。
(2016年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|---------|---------|
| 1. 旧石器時代 | 2. 弥生時代 | 3. 縄文時代 | 4. 古墳時代 |
|----------|---------|---------|---------|
- 問10 縄文時代に作られた土偶の中には、わざと体の一部を壊した状態で発見されるものがあります。このような特徴から推測される、土偶が作られた目的として最も適切なものはどれですか。
(2023年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 土器を作る技術が未熟であったため、焼成の過程で自然に壊れてしまうことを前提とした観賞用。 | 2. 病気や怪我のある部分を壊すことで、その痛みを土偶に引き受けてもらおうとする身代わりの願い。 | 3. 集落間の争いにおいて、倒した敵の姿を土偶に投影し、戦勝を記念して破壊する儀礼用。 | 4. 大陸から伝わった高度な彫刻技術を模倣しようとして、失敗したものを廃棄した残骸。 |
|---|--|---|--|
- 問11 縄文時代の遺跡から発見される、人間を模した土製品（土偶）に関する記述として、当時の人々の暮らしや考え方を踏まえたものとして最も適切なものはどれですか。
(2024年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|-------------------------------------|--|
| 1. 定住生活が始まったことで、集落の入り口に魔除けとして立てられた石像である | 2. 自然の恵みや生命の誕生を願う、当時の人々の切実な信仰心に基づき製作された | 3. 米作りの儀式において、神の依代として用いられた青銅製の道具である | 4. 亡くなった豪族の権威を示すため、巨大な墓の周辺に副葬品として配置された |
|---|---|-------------------------------------|--|
- 問12 日本の歴史において、縄文時代に定住生活が始まり、生活が安定する中で普及した、表面をみがいて形を整えた石器を何と呼びますか。
(2018年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|---------|--------|
| 1. 打製石器 | 2. 鉄器 | 3. 磨製石器 | 4. 青銅器 |
|---------|-------|---------|--------|
- 問13 縄文時代の人々が、食物の豊作や子孫の繁栄、あるいは病気や怪我の治癒などを願うための信仰として用いた、女性をかたどった土製の像を何と呼びますか。
(2023年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| 1. 埴輪 | 2. 石包丁 | 3. 銅鐸 | 4. 土偶 |
|-------|--------|-------|-------|